

富岡市立さくら小学校建設基本方針

令和6年1月
富岡市教育委員会

目 次

1	基本方針策定にあたって	1
	(1) 建替えの背景	1
	(2) 基本方針策定の目的	1
2	一ノ宮小学校の現状	2
	(1) 所在地	2
	(2) 児童数・学級数	2
	(3) 建物概要	2
3	基本的な方針	4
	(1) 施設のコンセプト	4
	(2) 想定施設	4
	(3) 施設の規模	5
	(4) 建設予定地	5
4	各計画に関する基本的な考え方	6
	(1) 配置計画の基本的な考え方	6
	(2) 平面計画の基本的な考え方	6
	(3) 内外装計画の基本的な考え方	6
	(4) 設備計画の基本的な考え方	6
	(5) 防犯計画の基本的な考え方	7
	(6) 防災計画の基本的な考え方	7
	(7) 環境配慮計画の基本的な考え方	7
	(8) 運動施設（屋内運動場及びプール）計画の基本的な考え方	7
	建設基本方針検討委員会	9
	(1) メンバー一覧	9
	(2) 協議経過	9

1 基本方針策定にあたって

(1) 建替えの背景

本市の学校施設は、昭和40年～50年代の児童生徒数の増加を受けて、昭和50年代を中心に建設されました。近い将来、こうした学校施設の多くが老朽化し、改修や更新が必要となります。しかし、人口減少、少子高齢化等にもなう財政負担が増大する中、施設の改修や更新費用の確保が課題となっています。一方、学校施設は、子どもたちの学習の場として充実した教育活動を展開できるよう、機能性ととも、快適で十分な安全性、防犯性、衛生的な環境を備えた安全安心な教育環境を整えることが求められています。

一ノ宮小学校の校舎は、昭和40年に建設され、その後、児童数の増加に伴い、昭和52年、昭和57年に増築し、児童の学校教育及び一ノ宮地区の地域活性化に貢献してきました。そして、令和7年度には、一ノ宮小学校、吉田小学校及び丹生小学校の3校が統合するさくら小学校が開校し、一ノ宮小学校の校舎を使用する予定であり、今後も児童の成長を支えていく重要な施設です。

しかしながら、本校舎は、築58年が経過し、市内小学校施設で最も古く、西校舎についても築40年を超えるなど、建築物の躯体、電気・機械設備のほか、さまざまな面で老朽化が進んでおり、今後、安全面及び機能面で問題が発生する可能性があります。また、本校舎は廊下の幅が狭小であることや、教室入口の内部建具が低いという問題点もあり、より良い教育環境を整えるために早急に建替えを行う必要があります。

(2) 基本方針策定の目的

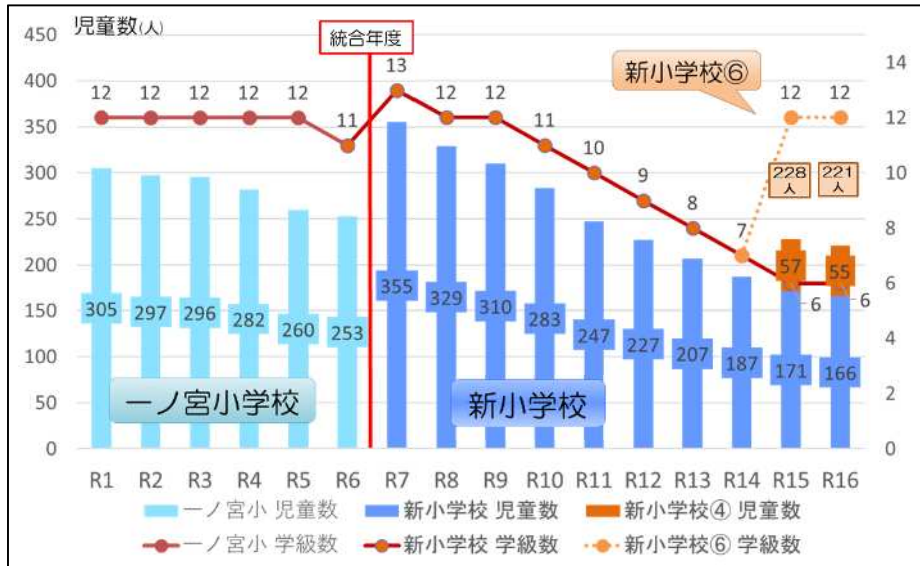
基本方針策定の目的は、さくら小学校の建設にあたり、施設の抱える様々な課題や児童数の推移、学校の再編など情勢の変化を踏まえ、学校建設に関する基本的な考え方について整理し、今後の建設事業に反映するために策定するものです。

なお、建設基本方針の策定にあたっては、保護者、地域住民及び学校教職員の意見を反映するために、新小学校（一ノ宮）建設基本方針検討委員会を設置し、「施設整備にあたっての基本的な方針」と「施設の空間構成など機能や規模の整備方針」について検討及び整理を行いました。

2 一ノ宮小学校の現状

(1) 所在地 富岡市一ノ宮 16 番地 1

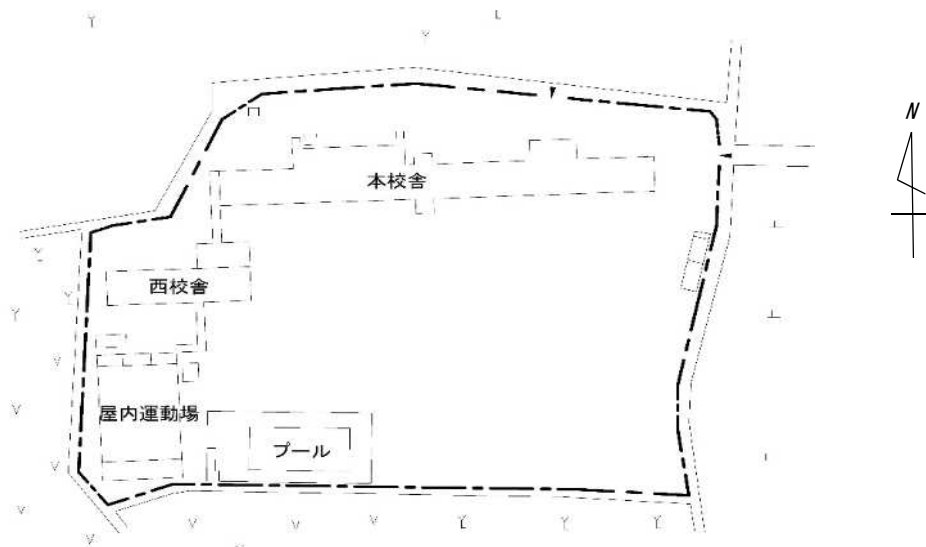
(2) 児童数・学級数



児童数及び学級数の推計 (令和5年3月31日現在)

(3) 建物概要

棟名称	延べ面積	主体構造	竣工年度	経年
校舎	3,715 m ²	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造	昭和40年 (本校舎) 昭和52年 (西校舎) 昭和57年 (西校舎)	58年 46年 41年
屋内運動場	699 m ²	鉄骨造	昭和54年	44年



敷地面積 15,543.78 m²

現在の一ノ宮小学校の外観



3 基本的な方針

(1) 施設のコンセプト

安全安心で快適な生活環境の実現と、地域に開かれた学校としての機能確保を図り、児童が、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和のとれた「生きる力」を身に付けることができるようにするため、次の事項をコンセプトとして整備を行います。

①安全性に配慮した施設整備

- ・安全安心な教育環境を確保するため、施設設備の安全管理、防犯、自然災害発生等の観点から十分な対策を講じた施設を整備します。
- ・施設を長く使い続けることができるように、ライフサイクルコスト等を考慮し、建物の機能や性能を高めます。

②生活環境の質的向上

- ・児童や教職員の健康で快適な生活環境の実現及び学習意欲の増進に寄与するよう、採光、通風、換気等を考慮するとともに、温かみのある生活空間を創造します。
- ・学校を利用する全ての人にやさしい施設となるよう、バリアフリー化を行います。

③教育環境の充実

- ・児童の個々の教育的ニーズや特性に対応し、多様な学習内容・学習形態に対応が可能な、新しい時代の学びに即した機能的で柔軟性のある学習空間を整備します。
- ・情報化の進展に柔軟に対応できるように、これからの時代にふさわしいICT教育環境を整備します。
- ・英語を用いて主体的にコミュニケーションを図る児童の育成に向け、多様な学習形態、表現活動、体験的な活動に対応できる FunGLISH^注（ファングリッシュ）ルームを整備します。

④地域連携の推進

- ・地域に開かれた学校として、地域や家庭との連携を推進するため、学校開放を踏まえた施設を整備します。
- ・地域の避難所としての防災機能を高める整備を行うとともに、地域への学校開放を想定したセキュリティを確保します。

(2) 想定施設

主な想定施設は次頁のとおりです。

^注 FunGLISH（ファングリッシュ）：「Fun（楽しい）」と「English（英語）」を合わせた造語

名 称	内 容
普通教室	15室（特別支援教室3室を含む）
特別教室	理科室、音楽室、図工室、家庭科室、FunGLISH room、図書室、特別活動室、教育相談室、言語指導教室 ほか
多目的教室等	多目的教室（多目的スペース）、少人数学習室
管理諸室	校長室、職員室、保健室、事務室、会議室、放送室、職員更衣室、教材室、印刷室、倉庫 ほか
体育施設	体育館、プール（更衣室等含む）、校庭
外構等	駐車場、駐輪場、体育器具庫、備蓄倉庫、植栽、その他付属建物、スクールバス発着場 ほか

(3) 施設の規模

文部科学省基準^注より、学級数に応ずる校舎及び屋内運動場の必要面積を算定します。

建物	学級数	学級数に応じた必要面積
校舎	12学級 + 特支3 = 15学級	5,174㎡
屋内運動場	//	919㎡

※令和9年度の学級数で算定

(4) 建設予定地

建設予定地は、一ノ宮運動場とします。



^注 公立学校施設費国庫負担金等に関する関係法令等の運用細目（平成18年7月13日 18文科施第188号）

土地情報

項目	内容
地番・地積	富岡市一ノ宮1702 17,682 m ² (公民館敷地含む) 計 17,682 m ²
現在の利用状況	(公民館) (1,944.83 m ²) グラウンド・テニスコート 14,410.17 m ² 屋内運動場 1,310.86 m ² ガス整圧施設 16.14 m ²
備考	年未年始は貫前神社の参拝者用駐車場として利用している。 旧一ノ宮小学校跡地である。

建築条件

項目	内容
用途地域	第一種中高層住居専用地域
防火・準防火	指定なし
地域・地区等	建築基準法第22条区域
建ぺい率	60%
容積率	200%
周辺道路等	北側：市道5242号線 幅員2.3～6.0m 西側：市道5244号線 幅員6.7～8.2m 南側：市道5240号線 幅員4.4～6.1m 東側：市道5241号線 幅員1.8～3.7m
その他	富岡市景観計画に基づく景観計画区域 (色彩の制限、高さ20m以下)

【一ノ宮運動場とする理由】

- ・仮設校舎を建設する必要がなく、児童の学習活動へ影響を及ぼさずに建設できます。
- ・以前学校跡地であったことから、学校用地としての諸条件が整っています。
- ・スクールバスの乗り入れが可能であり、乗降場所を学校敷地内へ設置することができます。
- ・現在の一ノ宮小学校跡地を整備することで、一ノ宮運動場の代替地として使用することができます。(屋内運動場も含む)

4 各計画に関する基本的な考え方

建築基準法、小学校施設整備指針、学校施設のバリアフリー化推進指針、その他関係法令に準拠し、以下のとおり整備に関する基本的な考え方を定めます。

(1) 配置計画の基本的な考え方

- ・校舎は外部騒音等の影響をできるだけ避け、屋内運動施設及び屋外運動場との動線等を考慮し、児童の円滑な利用が図られる配置計画とします。
- ・敷地の特性及び自然環境、教育環境に配慮した配置計画とします。
- ・屋内・屋外の多様な連携が可能となる配置計画とします。
- ・児童の安全性に配慮した外部動線計画とします。
- ・周辺環境への影響に配慮した配置計画とします。
- ・スクールバスが安全に駐停車、転回でき、児童が安全に待機及び乗降できるスペースを計画します。

(2) 平面計画の基本的な考え方

- ・児童の教育環境を第一に考えた平面計画とします。
- ・児童が移動しやすくわかりやすい動線計画とします。
- ・教室と廊下等とのつながりをもたせた平面計画とします。
- ・明るく、開放的で居心地の良い空間の創出を目指します。
- ・学年単位の活動及び特別教室との連携を考慮した平面計画とします。
- ・職員室、校長室からの見守りに配慮した計画とします。
- ・将来の変化に対応できるフレキシビリティの高い施設とします。
- ・エレベーターを設置する等、バリアフリーに配慮した設備計画とします。

(3) 内外装計画の基本的な考え方

- ・周辺の街並みとの調和に配慮した外装計画とします。
- ・児童の活動や賑わいが感じられる外装計画とします。
- ・落ち着いて学習及び日々の活動ができる内装計画とします。
- ・木質化を行い、温かみのある居心地の良い内装計画とします。
- ・日常清掃、維持管理、メンテナンスがしやすい計画とします。
- ・児童の自主的・自発的な学びや交流を生み出すしかけを積極的に取り入れます。

(4) 設備計画の基本的な考え方

- ・省エネルギー対策、省資源対策に配慮した設備計画とします。
- ・冷暖房設備を教室、管理諸室、体育館などに整備します。
- ・自然採光及び自然通風を積極的に取り入れ、資源の節約に配慮した計画とします。

- ・自然エネルギーの有効利用に配慮した環境にやさしい設備計画とします。
- ・設備機器の耐震性に配慮した安全な計画とします。
- ・太陽光発電設備の設置等、環境配慮及び環境教育の実践について配慮します。
- ・ICT教育環境への対応について検討し計画に反映します。
- ・経済性、更新性に配慮した計画とします。

(5) 防犯計画の基本的な考え方

- ・敷地内外からの見通しや、管理諸室の配置に配慮し、「人の目」の確保による危険性の察知、犯罪の抑止を図る等、視認性を確保した計画とします。
- ・フェンスや門扉等による物理的な境界の確保だけでなく、舗装材を変えたり、花壇で通路をデザインしたりする等、心理的に知覚できる領域性を確保し、不審者の侵入等を抑制するような計画とします。
- ・鍵やインターホンなどによる出入りの管理設備を計画します。
- ・防犯カメラや機械警備を計画します。

(6) 防災計画の基本的な考え方

- ・災害発生時において命を守れる施設とするために、構造体の安全性確保、非構造部材や建築設備の耐震化を行います。
- ・地域の避難所としての利用を想定し、防災備蓄倉庫を計画します。
- ・かまどベンチやマンホールトイレ、防災井戸の設置を検討します。
- ・電力の供給がストップした時の対策として、自家発電設備の設置を検討します。
- ・窓ガラスには強化ガラス及び飛散防止フィルムを採用する等、窓ガラスの安全性を確保します。

(7) 環境配慮計画の基本的な考え方

- ・ゼロカーボンシティの実現に向けて、施設のZEB化^注を推進し、自然エネルギーの活用、省エネルギー対策、資源の再利用等環境に配慮した施設とします。
- ・断熱性能を高めるなどにより、夏涼しく、冬温かい校舎とします。
- ・環境教育の教材としても活用できる施設となるよう配慮します。

(8) 運動施設（屋内運動場及びプール）計画の基本的な考え方

- ・教科体育、行事、学校開放等における各種の運動に必要な規模等を確保するとともに、避難所等としての利用に配慮した計画とします。

^注ZEB (Net Zero Energy Building: ネット・ゼロ・エネルギー・ビル): 「地球温暖化対策計画」(2021年10月22日閣議決定)の第3章第3節において、2030年度末までを計画期間とし、国の優先的取組として「新築建築物におけるZEBの実現(平均でZEB Ready相当を目指す。)」とされている。ZEBは、年間の一次エネルギー消費量が正味ゼロまたはマイナスの建築物のこと。

- ・校舎との一体的な整備を検討する場合は、相互の移動、学校開放時の防犯対策を考慮します。
- ・出入口、トイレ、更衣室等の付属施設は、学校教育活動においてはもちろん学校開放時にも利用しやすいような規模、位置等を計画します。
- ・屋外教育環境として良好な校庭を計画し、芝生広場等の緑地や防災に有効な設備の設置等も検討します。

建設基本方針検討委員会

(1) メンバー一覧

	委員	役職
1	一ノ宮小学校長	校長
2	吉田小学校長	校長
3	丹生小学校長	校長
4	一ノ宮小学校 PTA	代表
5	吉田小学校 PTA	代表
6	丹生小学校 PTA	代表
7	一の宮保育園保護者会	代表
8	一ノ宮ピッコロこども園保護者会	代表
9	富岡いずみこども園保護者会	代表
10	丹生保育園保護者会	代表
11	一ノ宮地区区長会	代表
12	吉田地区区長会	代表
13	丹生地区区長会	代表
14	教育部長	部長

(2) 協議経過

	日時 場所	内容
第1回	令和5年11月28日(火) 午後7時 一ノ宮小学校	・基本方針(案)の説明 ・今後の予定について
第2回	令和5年12月21日(木) 午後7時 一ノ宮小学校	・基本方針(案)に関する協議 ・今後の予定について